

BCP取組の自走化！

～ BCPを「育てていく取組」のポイント～


近年、大災害、感染症、など、危機が長期化・常態化することが当たり前になり、BCP（事業継続計画：Business Continuity Plan）を策定する取組に加えて、BCPを育てて組織に定着させる取組の重要性が日々増しております。

この「BCPを育てていく取組」は、例えば、抽出された課題に優先順位をつけて順番に消し込む、繰り返し訓練を実施するなど、長期間にわたって継続して実施することが必要です。この状況を我々は策定の取組と比較して「策定は一瞬、育成は一生」と呼んでいますが、特に、大企業に比べて人手や資金の余裕がない中堅・中小企業においては、長期間にわたる「BCPを育てていく取組」の途中で心が折れてしまい、自走できていないのが現状です。


本WEBセミナーでは、この手間と時間を要する「育てていく取組み」に着目して、中堅・中小企業がかかる取組を「自走化」していくためのポイント等を整理・解説をします。

配信期間	2024年1月23日（火） 14:00～15:00 生配信	ご視聴無料
配信コンテンツ	(1) BCPを育てていく取組の必要性	中堅・中小企業のBCP取組の実態を明らかにし、 BCP取組を定着化させるための「育てていく取組」の必要性 について整理をします。
	(2) BCPを育てていく取組の方向性～自走化～	「育てていく取組」には手間と時間がかかる実態を踏まえ、 「BCPを育てていく取組の方向性を整理します。」 キーワードは「 自走化 」～
	(3) BCPを育てていく取組のポイント	BCPを育てていく取組の「 自走化 」のポイントを、 長期間にわたる取組になる実態を踏まえ、整理をします。 キーワードは「 自分事BCP 」と「 育成の習慣化 」～
	(4) 自走化支援ツールのご紹介	今般、MS&ADインターリスク総研で開発した BCM取組の自走化を支援するシステム「レジリード」とその活用方法 をご紹介します。
講師	MS&ADインターリスク総研（株） リスクマネジメント第四部長 政策研究大学院大学特別講師 山口 修	（略歴）2009年からリスクマネジメントに従事。専門領域は防災・BCM。2021年より現職。2020年より政策研究大学院大学特別講師。企業等向けコンサルティング実績、企業等向けセミナー出講実績多数【内閣官房主催シンポジウム（2016年、2018年）、中小企業庁主催シンポジウム（2019年）等】。

※本イベントの著作権はMS&ADインターリスク総研株式会社に帰属します。また、内容については一部変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

視聴申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下記URLまたは右記二次元バーコードよりお申込ください。 ・その際、識別コード『AED79』をご入力ください ・お申込み後、メールにて視聴URLを記載した「お申込み受付完了のお知らせ」をお送りします。（申込み受付期間：～1月22日（月）15時まで） URL: https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/23583 	
--------	--	---

お申し込みはこちら

お問合せ先	MS&ADインターリスク総研株式会社 リスクマネジメント第四部 事業継続マネジメント第一グループ 尾池・副島 TEL(グループ宛) : 03-5296-8918 E-mail : interrisk_bcm@ms-ad-hd.com	
	リスクマネジメント第四部 事業継続マネジメント第二グループ 鍵村・加藤 TEL(グループ宛) : 03-5296-8958 E-mail : interrisk_bcm2@ms-ad-hd.com	「レジリード」についてはこちら